

## 修正履歴

ドキュメント名			地域情報プラットフォームアーキテクチャ標準仕様 V2.1		
項番	修正箇所	修正区分	準拠確認 CL への影響有無	修正内容	関連箇所等
1	全般	変更		地域情報プラットフォームを地域情報PFに変更。 地域情報プラットフォーム標準仕様を地域情報PF仕様に変更。	
2	2.3(2)	変更		添付書類の機能説明を変更。 添付書類のデータ構造明記のため、図 2.3、図 2.4 を差替え。 添付資料データ定義を明記するため、表 2.2 を追加し、説明文を追加。	
3	2.4	変更		<<準拠ルール>>【サイト内】(GS-R020009) サポート必須となるように明記。	
4	3.2	追加		地域情報PF標準仕様が、他の外部団体が決めた標準仕様への強制力は無いことを明記。	
5	3.2(1)①	追加		【共通】の説明を追加。 「(3) 文字コード・外字に関する規則(要改版)」の(要改版)を削除。	
6	3.2(2)③	変更		名前空間の構文および管理体系の見直しに伴い、URN 構文を明記。 また、構文項目としての地域情報PF種別の一覧を表 3.2.1 として追加。 バージョン文字列の形式を明記。	
7	3.2(3)	変更		②③を削除し、④を②に変更。以降番号を繰上げ。	
8	3.2(5)⑪	追加		XMLスキーマの公開に伴い、提供スキーマの適宜使用を記述。	
9	3.2(5)⑫	追加		標準化仕様リリースに関して、スキーマファイル情報の記述方法を明記。	
10	3.2(6)	変更		表題を「データ項目の設定と XML 表現について」に変更し、XML スキーマでの NULL 値表現方法を記述。	
11	3.2(7)	変更		名前空間の構文変更と、スキーマ公開に伴い、XML 定義更新時のバージョンの取り扱いについて内容を変更。	
12	5.1	変更		文言修正 通信仕様→通信標準仕様。	
13	6.3.7(2)	変更		開始側の MEP 実行系レベルで共通的に実施さ	



